

南アルプス市都市計画マスタープラン改定 第1回市民ワークショップ 『“まち”の良いところ、改善したいところ』 開催報告

「都市計画マスタープラン」の改定に向けた検討にあたり、市民の皆様からのご意見等を反映するため、『“まち”の良いところ、改善したいところ』というテーマで、8月22日に市民ワークショップを開催いたしました。頂いた意見を踏まえ検討を続けてまいります！

開催概要

テーマ

『“まち”の良いところ、改善したいところ』

開催日

8月22日（木）
19：00～21：00

会場

地域防災交流センター2階
多目的ホール

参加者

20名（10代～80代）
* 高校生5名参加
3つの班に分かれて議論

当日の流れ（概要）

- ①都市計画マスタープランとは
ワークショップの進め方など
- ②まちの魅力に関する議論
グループワーク
- ③まちの課題に関する議論
グループワーク
- ④全体発表

当日の様子



いただいた意見の一部（1班）

まちの魅力

- 渋滞が少ない
- 景色（伊奈ヶ湖）がきれい
- 地理・地形上の特徴が多い
- コストコができる
- 農業が盛ん
- スポーツ・キャンプ・職業体験ができる場所がある

まちの課題

- 不審者の目撃情報が多い
- 電車站がない、車がないと何もできない
- 大きなショッピングモールがない
- 空き家、農業従事者の高齢化
- 街灯が少なく道が暗い

いただいた意見の一部（2班）

まちの魅力

- 水がおいしい
- 身近な自然、景観（伊奈ヶ湖、棚田、富士山、甲府盆地）
- 歴史が深く文化財・古民家が多い、新スポットができた
- アクセスの良さ（リニアなど）
- 開発可能性、駐車場が広い

まちの課題

- 車社会（公共交通機関少ない）
- 居住エリアの分散
- 空き家と荒れた農地
- 宿泊施設、特色ある教育施設
- エネルギーの循環化（再エネ）
- 行政の交渉力、情報（魅力）発信が足りない

いただいた意見の一部（3班）

まちの魅力

- 市のネーミング（カタカナ）
- 田園風景が美しい、水がきれい
- 山（北岳、登山）
- 果樹の種類と豊富さ
- コミュニティバスがあること
- 縄文以来の歴史的なものの蓄積
- 災害が少ない

まちの課題

- コミュニティバスの運用改善・バスを中心とした動線設計
- 耕作放棄地、鳥獣被害、担い手の高齢化
- 市民が魅力を知らない、情報の発信力が弱い
- 地域単位のエコ

最後に

20年後の未来を担うことになる高校生に対して、市民の方から「市外の大学に行くとは思いますが、市内に戻るとしたらどのようなものが欲しいですか。」との質問がありました。急な問いかけにもかかわらず、しっかりと答えていただきましたので、内容をキーワードで紹介いたします。

「イベントに行くなどの遊び場」「職場」「自然」

内容に関するお問い合わせ先：南アルプス市建設部都市計画課

（住所）〒400-0395 山梨県南アルプス市小笠原376番地

（mail）toshikei@city.minami-alps.lg.jp（電話）055-282-6394